

AMLの作業前点検について

作業前には、取扱説明書に従ってAML（過負荷防止装置）の作業前点検を必ず実施してください。

AML（過負荷防止装置）システムが正常に作動していない状態で作業を行うと、クレーンは転倒または破損して重大災害が発生する恐れがあり、非常に危険です。

作業前点検時に異常を発見した場合は、直ちに弊社サービス工場へご連絡のうえ、修理調整を完了後に作業を開始してください。

AML作業前点検要領

①. 精度確認手順（取扱説明書或いはAML作業前点検銘板を参照）

- クレーンの状態を機種毎の作業前点検条件に合わせる。
（点検姿勢、条件は機種毎に違いますので、不明の点は弊社にお問い合わせ下さい）
↓
- ブーム起伏角度10°の基準値を確認する。（起伏上げ操作で起伏角度10°に合わせる）
↓
- 基準値と異なる場合は調整する。
↓
- ブーム起伏角度50°の基準値を確認する。（起伏上げ操作で起伏角度50°に合わせる）

注意!

起伏角度50°では基準値の確認のみで、調整は絶対に行わないこと。

（基準値と異なる場合はサービス工場にて修理調整を行うこと）

②. 作動機能確認（取扱説明書或いはAML作業前点検銘板を参照）

- 停止機能（△スイッチを押した状態で起伏・伸縮・ウインチが作動しないこと）
- 警報機能（△スイッチを押した状態でAML100%連続ブザー音）
- 表示機能（△スイッチを押した状態でAML本体の表示及びランプ表示）

※AML-V型は作動機能確認はありませんが、画面に表示される点検手順に従って、確実に作業前点検を実施して下さい。

注意!

AML（過負荷防止装置）より90%警報音が出された場合は、荷振れに注意し、安全を確認して作業するとともに、操作速度を減速して作業してください。

注意!

AMLの作業状態を常に正しく登録して作業するとともに、AMLの機能を解除させての作業は絶対に行わないでください。

注意!

ラフィングジブ作業前は、取扱説明書或いはAML作業前点検銘板を参照のうえ、各機種毎の点検姿勢、条件に合わせて、確実に作業前点検を実施して下さい。

ご用命は右記サービス工場へ

 **TADANO**

サービス部作成

